

第3回東大本番レベル模試 国語(理科) 優秀答案

第一問

(一)

国家の存在に本質的な、国家がある領域で正当な暴力行使の独占を実効的に要求する自体はなぜ国家だけが自らの暴力を正当とできるのかという問いを生むこと。

(二) 該当無し

(三)

他者からの評価を「あるがまま」の自分と一致した肯定的なものとして受容できる保証はなく、かえって他者の評価通りに演技しなければならぬ場合もあるから。

(四)

暴力は破壊するだけでなく、誰に対してもどんな状況でも相手を恐怖させられるため、暴力的に優位に立つものがその恐怖を利用し命令、決定に裁量を持てること。

暴力は破壊し打ちのめすと同時に、相手の恐怖を利用して普遍的に命令することを可能にし、それを保持するものに大きな決定の裁量を与える働きをもつということ。

(五)

暴力は誰にでも状況によらず相手の恐怖を利用し命令に実効性を持たせられる普遍的手段なのである社会の中で他の個人、集団を圧倒する暴力を持つ国家は実効性のある命令である法を制定し、暴力を違法と合法に分け自らの行使する暴力だけを合法化できるから。

第二問

(一) 該当無し

(二) 該当無し

(三) 該当無し

(四)

四の君を気の毒に思うものの、早く北の君への復習の実現を願う気持ち。

四の君には恥をかかせ申し訳ないが、北の方への復讐を思うと心がはやる気持ち。

第三問

(一) 該当無し

(二)

文侯がわいろをたくさん送らない豹は側近からの評判が悪いため、豹を長官を辞めさせた。

(三) 該当無し

(四)

結局、豹は自分のために心を治めよという文侯の言葉を聞かず長官を辞めたこと。